

～船の現場を見学し、生徒指導に役立てて～ 先生向けフェリー見学会・海事講座の開催

令和6年11月29日（金）旭川運輸支局は関係団体と協力し、稚内市内の中学校3校3名の先生を対象に、フェリー船内見学会・海事講座を開催しました。若手の船員を確保・育成するためには、生徒の進路を指導する立場にある中学校の先生に、船員という仕事について深く理解いただくことが重要です。

そこで、稚内～利礼航路に就航しているボレアース宗谷（3578トン）にて、中学校の先生に船員の仕事を体験・見学いただく事業を実施しました。

まずは、船員さんの昼食を実食です。船員にとって、船は仕事場であり、かつ、生活の場でもあることから、その食事は法律により船舶所有者が賄うこととされています。（船員法第80条 船舶所有者は、船員の乗船中、これに食料を支給しなければならない。（抄））

ボレアース宗谷でも専門の司厨員（船のコックさん）が乗船しており、3食準備してくれます。

この日のメニューはカレーライスで大ぶりの豚肉がとにかく柔らかく絶品でした。先生達も美味しそうに食べており、おかわりをする先生も！皆さん大満足でした！



食事の後、船員居住区では、この日案内してくれた一等航海士の居室を見せていただき、その後、機関室へ。巨大なエンジンを前に機関士の方から機関部の仕事について、説明を受けました。



続いて船橋です。船橋では様々な航海機器についてご説明いただくとともに、実際に舵に触れさせていただくなど、船の仕組みや船橋における船員の仕事について理解を深めていただきました。

見学後はフェリーターミナル会議室にて、北海道運輸局職員とハートランドフェリー職員からの海事講座です。北海道運輸局からは海事産業とは、海運の重要性、船の種類、船員の仕事、船員への道について、フェリー会社からは、利礼航路、就航船、船員の労働環境、労働条件について説明しました。

本船の船長も中学時代に見学した南極観測船しらせの見学会で感銘を受けて、船員の道に進んだそうですから、中学時代の進路指導は本当に重要です。参加された先生方、これからの生徒への指導よろしくをお願いします。

そして、本事業の実施にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

▼ 参加した先生からのコメント ▼

乗船するだけでは分らない船の構造を含めた海事のことを、一部理解することが出来ました。興味深く体験することが出来ました。

船のウラ側など、普段見ることが出来ない場所を見られたこと、聞くことが出来ない話を聞いたことが良かったです。準備等ありがとうございました。

